

関係者各位

当社の現状に関するご報告

関係者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本日、当社は「平成25年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」を発表いたしました。平成25年12月期第2四半期の連結業績において、当社グループは売上高540百万円、営業利益68百万円、経常利益49百万円、四半期純利益45百万円を計上し、昨年第2四半期の経営成績及び平成25年2月15日に公表しておりました第2四半期までの業績予想値を上回る成果を上げることができました。安定した事業基盤のもと、関係各社様からのご支援・ご協力を得て、役職員一同も目標の達成に向かって努力した結果であると認識しております。

不動産販売事業においては、当四半期は完成物件がありませんでしたが、短期間での売上計上が可能な戸別での買取再販活動に注力した結果、少数ではありますが投資用マンション数戸の買取販売を行い、売上高及び利益の計上に貢献いたしました。本日現在でも戸別の投資用マンション及びファミリータイプのマンション数戸の仕入れを完了させており、第3四半期から第4四半期にかけて販売が完了する見込みとなっております。また、不動産仲介事業においては、既存の賃貸仲介及び投資用マンションの売買仲介業務に加え、今期よりスタートしたファミリータイプの居住用物件の売買仲介業務も少しずつではありますが成果が出始めており、人員も強化して安定収益事業へと成長させるべく尽力しております。

その他既存事業も概ね順調に推移しており、安定収益に加え経費削減も継続的な効果として利益の底上げに寄与しております。しかしながら、開発事業においては、継続して事業化の検討を進めてはいるものの、建築コストが依然高い水準で推移しており、未だ事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。優良用地を優先して確保できるだけのスピードを備えた営業企画力、用地取得から完成・販売まで長期にわたり資金を投下し続ける財務力、これらを実現するための組織力等がまだまだ不足しており、現在では新規プロジェクトの開始までは至っておりません。

しかしながら、開発事業の本格的な再開が今後の当社における業容及び収益拡大に寄与するとの考え方に変わりはありません。1年以上の開発期間を必要とする新規プロジェ

クトを支えるだけの既存事業の収益力の向上、資本政策等による財務力の強化、開発事業を本格稼働させるための組織・人員体制整備を早期に着手し、業容拡大を実現するための経営基盤強化に注力してまいります。

中国・海外諸国へのビジネス展開については、継続的に徳威グループと協議を重ねており、当社の企業価値向上のための適切なご提案を受けております。事業構築をするうえでは様々な経営リスクがあるものの、リスクバランスを鑑みながら収益機会を求めていく姿勢に変わりはありません。海外事業を取り入れていくことは難易度の高い挑戦であると理解しておりますが、日本国内のビジネス強化と同様に新規収益の柱として実現化に注力してまいります。

平成25年度上半期を終え、昨年度と同様、着実に利益を積み上げ、前年同期と比べて増収増益の成果となっておりますが、実現できなかったこと、軌道に乗せられなかったこともまだまだたくさんあります。現状に甘んじることなく今一度気を引き締め直し、高い目標と高い意識をもって役職員一丸となって取り組んでまいります。

株主様、お客様、お取引業者様などの関係者の皆様には、今後の当社の事業展開に是非ご期待いただくとともに、引き続き変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

平成25年8月
株式会社陽光都市開発
代表取締役 田中 忍